

平成30年2月

大野市教育委員会定例会
会議録

日 時：平成30年2月22日（木）午後2時30分～4時35分

場 所：大野市役所 談話室

大野市教育委員会 2月定例会

平成30年2月22日(木)

午後2時30分～ 談話室

1. 開 会

会議録署名人 清水委員 麻生委員

2. 1月定例教育委員会の会議録の承認について

3. 委員長及び教育長の重要事項報告

4. 議 事

議案第4号 大野市阪谷幼稚園運営規定を廃止する規程案

5 付議事項

1) 平成30年度大野市教育方針(案)について 資料1

2) 文化会館の整備について 資料2

3) 3月市議会について 資料3

4) 3月の主な行事予定について 資料4-1

・3月定例教育委員会 3月29日(木)午前10時00分から

庁舎2F 談話室

※午前9時より 感謝状贈呈式(結305)を予定

6 その他

1) 2月の業務報告について 資料4-2

2) 小中学校卒業式について 資料5

3) 感謝状贈呈式について

4) 指定学校変更許可について

7. 閉 会

<出席者>

委員長

洞 口 幸 夫

	職務代理者	清 水 美 那 子
	委 員	關 園 子
	委 員	麻 生 博 之
	委 員	松 田 公 二
事務局（説明者）	教育長（再掲）	松 田 公 二
	事務局長	小川 市右エ門
	教育総務課長	山 田 靖 子
	学校教育審議監	道 鎮 栄 一
	生涯学習課長	中 村 吉 孝
	〃 文化財保護室長	中 村 りえ子
	〃 スポーツ振興室長	多 田 直 人
（書 記）	教育総務課課長補佐	安 井 妙 子

<傍聴者>

0 名

【開会・点呼】

【委員長】ただ今から2月定例教育委員会を始めさせていただきます。本日の傍聴者はありませんので、よろしくお願ひします。

——<大野市教育理念の唱和>——

【委員長】皆さま方には、この度の大雪でかなりお疲れの残る中、お元気にご出席いただき、誠にご苦労さまです。

雪には経験も豊かで強い大野市民といえども、寒明けの4日から断続的に降り続いた、三八豪雪や五六豪雪に次ぐ記録的な大雪の除雪で疲労等が極限状態にある中、ピョンチャンから届けられる冬季オリンピックでの日本人選手のメダルラッシュの朗報に、大いに癒されたことと思います。

情報によりますと、今回の大雪は、最強寒波が長々と居座ったせいで、懸命の除雪作業にもかかわらず追いつかず、交通網はズタズタにされ、私立高校2日目の入試が9日間も延期のやむなきに至るなど、全ての学校が臨時休業を強いられました。

また、予定していた文化・スポーツ行事等も相次いで中止になったり、スーパーでは、食料品等も入荷が滞ったりするなど、異常事態も起きました。

こうした状況の中、事務局には児童生徒の安全を最優先に適切な判断のもと、学校対応をしていただき、お陰さまで心配するようなことは何一つ聞かず、本当に有難かったと思っています。

これから、雪解け時期を迎えますと、大雪ゆえに心配事も多様になります。子どもたちの登下校や、雪遊び中の安全指導にご留意いただきますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、今回の大雪で人的被害がかなり多くありました。亡くなられた方が大野市を含め県内で12名、重軽傷者合わせて100名にも達しました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、お見舞い申し上げまして終わります。

【会議録署名人】

【委員長】本日の会議録署名人は、清水委員と麻生委員のお二人にお願いします。

【1月定例教育委員会の会議録の承認について】

【委員長】それでは、1月定例教育委員会の会議録の承認についてを議題と致します。事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課課長補佐説明>——

【委員長】ありがとうございました。ただ今の説明について質問、修正等ありましたらお願いします。

——<「特にありません」の声あり>——

【委員長】無いようですので、1月定例教育委員会の会議録は、事務局の提案どおり承認してよろしいですか。

——<異義なし>——

【委員長】 それでは、1月定例教育委員会の会議録については、事務局の提案どおり承認致します。

【委員長及び教育長の重要事項報告】

【委員長】 続きまして、3番の委員長及び教育長の重要事項報告に入ります。

私の方からは特にありませんが、教育長から何かありましたらお願いします。

【教育長】 今ほどの委員長の開会のご挨拶と少し重複しますが、重要事項報告として、今般の大雪によります小中学校及び公立幼稚園の休業等についてと、各施設の破損状況等についてご報告を致します。

まず臨時休業についてですが、今般の大雪により、2月8日、9日、13日の3日間、全小中学校及び公立幼稚園を臨時休業と致しました。そして14日は全小学校と和泉中学校及び公立幼稚園を臨時休業と致しました。また各学校ごとに、校長裁量で始業時刻を遅らせたり、或いは終業時刻を早めたりして対応致しました。

なお、学校によって3日ないし4日の臨時休業を取っていますが、学習指導要領に定めております標準授業時数が不足することはありません。しかし各学校では教科の授業時数の偏りを解消したり、より理解を深めたりするために、今後、一日の授業時間を1時間増やして、一日6時間にしたり7時間にしたりして対応していきたいとのことでございます。

先ほどの委員長の話にもありましたように、この大雪により、市民の方々の中には、亡くなられた方や怪我をされた方がおられます。心からお悔やみを申し上げますとともに、お見舞いを申し上げたいと思います。ただ、園児や児童生徒に怪我人が出なかったことは、大変ありがたく、今後も登下校の安全に万全を期してまいりたいと思っております。

次に、学校、公民館、図書館等における施設の破損状況について、ご報告を致します。有終東小学校と富田小学校において、落雪による窓ガラスの破損が合計6枚あります。しかし、公民館や博物館等では大きな破損はありませんでした。ただ、先ほど入った情報ですが、旧六呂師小学校体育館ドアの下半分が破れて、雪が入り込んでいるのと、図書館の冷暖房用のパイプが破裂しました。しかし、大雪という割には破損が少なくて済みました。これは教育委員会の2課の事務局職員が、乾側小学校をはじめ各学校や公民館、放課後子ども教室や幼稚園など積極的に雪下ろしをしてくれたお陰だろうと感謝しているところです。以上、重要報告とさせていただきます。

【委員長】 はい、ありがとうございました。

【議事】

【委員長】 それでは議事に入ります。

議案第4号 大野市阪谷幼稚園運営規程を廃止する規程案について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【委員長】 はい、ありがとうございます。ただ今、大野市阪谷幼稚園運営規程の廃止について説明をいただきました。何かご質問等ありましたらお願いします。

【清水委員】 富田幼稚園は、荒島保育園と一緒に富田幼稚園と荒島保育園と別々の名称でしたが、阪谷幼稚園は『さくらんぼ幼保園』という名称がありました。その名称はそのまま残すのですか。

【教育総務課長】 さくらんぼ幼保園というのは、正式名称ではなくて、阪谷幼稚園に阪谷保育園が併設されるときに二園をまとめて、愛称として地区の方や保護者の方々が定められたものだと思っています。

【清水委員】 それが来年度からは、阪谷保育園だけになるんですね。

【教育総務課長】 はい。

【教育長】 さくらんぼ幼保園という愛称ですが、阪谷幼稚園は休園するということで、いつ復旧してもよいように、今のところはそのまま使用するというで話しているように思います。

【關委員】 ということは、来年度以降の施設名はどうなるのですか。

【教育長】 愛称で言えばさくらんぼ幼保園、正式名称は阪谷保育園になります。

【教育総務課長】 幼稚園と保育園があつて、阪谷幼稚園は休園しますが、阪谷保育園は現在も園児が在籍していて、そのまま存続します。

【清水委員】 幼稚園の園長と、保育園の園長はどうなりますか。

【教育総務課長】 幼稚園の園長は小学校の校長先生が兼務していましたが、保育園の園長は、別に保育士の園長がおります。

【清水委員】 はい、わかりました。

【委員長】 説明を聞き漏らしたのかもしれないのですが、園児数について27年度から29年度までゼロだった。30年度の新規申し込みもゼロだったということですが、それ以降のことについては、予想として何か資料は無いですか。

【教育総務課長】 予想は難しいのですが、今のところ入園の意向は1件も把握していません。

【局長】 今までの、乾側幼稚園とか小山幼稚園の例では、園児数が4人が3年間続いた場合、若しくは3人以下になった場合は、その翌年から、休園という形をとらせていただいております。

【教育総務課長】 結局、3人では幼稚園は運営しにくいということで、4人の申し込みがあつた場合には復活しますが、1人の申し込みがあつても、これはちょつとなかなか出来ないということで、そのことも含めて区長会の方に説明させていただきました。

【關委員】 公立幼稚園は、いくつになるのですか。

【教育総務課長】 公立は、富田と上庄の2つです。

【清水委員】休園してる園は、小山、乾側、阪谷と3園になるということですね。

【教育総務課長】はい。そうです。

【關委員】園児数はどうですか。

【教育総務課長】30年度は富田が3人で、上庄が4人と聞いております。

【關委員】富田で3人ということは、31年度は休園ですか。

【教育総務課長】富田幼稚園も荒島保育園と併設していますので、阪谷と同じく柔軟に対応できるということと、もう一つは、今、もし阪谷に1人入園申込みがあった場合、富田の方へお願いできるということもありまして、今すぐ休園とは決めていません。

【清水委員】阪谷と富田は中学校区も同じですしね。

【教育長】阪谷幼稚園とか富田幼稚園とか、頭に地区名がありますが、学校と違って校区はありません。どこからでも自由に通えますので、一定の定員確保については考えていかななくてはいけないと思っています。

【教育総務課長】先日、福祉こども課が主催する「子ども子育て会議」という会議に出席しまして、市内の保育園や幼稚園、認定こども園のことについて話し合いました。

認定こども園には、従来の幼稚園のお子さんも1号認定という形で入ることができるという新しい制度ですけれども、29年度は誓念寺こども園と誓念寺中野こども園が新たに認定こども園になりました。30年度は、現在のいなやま保育園が、いなやま幼保園といなほ幼保園として、新しく認定こども園になります。31年度は民間の保育園1園と民間の幼稚園1園が認定こども園になり、その翌年は、また2園ほどあるだろうということで、毎年2園ほど認定こども園になっていきます。

認定こども園になることで、家庭での保育に欠けていないお子さん、それまでの幼稚園のお子さんを受け入れることが出来るようになりますので、大野市全体としては、幼稚園が休園・閉園したとしても、これらの園児を受け入れる場所が無くなるわけではありません。

【關委員】富田幼稚園は、認定こども園ではないのですよね。荒島保育園と富田幼稚園がたまたま同じ場所でやっているというだけで、認定こども園ではないということですね。

【教育総務課長】そうです。

【清水委員】旭幼稚園も休園と聞いたんですが。

【教育総務課長】旭幼稚園は学校法人ですので、学校法人に休園という措置はないらしいのですが、来年度は園児の受け入れをしないということでお聞きしております。

【委員長】他にありませんか。

それでは、議案第4号について事務局の提案どおり承認してよろしいですか。

——<異義なし>——

【委員長】では、議案第4号 大野市阪谷幼稚園運営規程を廃止する規程案については事務局の提案どおり議決することと致します。

【付議事項】

【委員長】では、付議事項に入ります。

平成30年度の大野市教育方針（案）について、事務局の説明をお願いします。

——<局長より第五次大野市総合計画について説明>——

——<各課室長より教育方針（案）の説明>——

【委員長】はい、ありがとうございました。平成30年度の大野市教育方針（案）について、詳しく説明いただきました。何か皆さんのほうで、質問、ご意見等ありましたらお願いします。

【麻生委員】活力あるスポーツ社会の実現のところで、「障害を持つ人」とか「障害者スポーツ」の障害を『害』を書いているんですが、この字でよろしいんですか。ひらがなで書くとかしくなくてもいいのですか。

【スポーツ振興室長】再度確認しておきますが、国のスポーツ関係の計画等では、この字が用いられてましたので、そのまま使用しております。

【麻生委員】そうですか。わかりました。

【教育長】国体を契機として、市民スポーツの振興ということで、具体的に考えていることをもう少し説明してください。

【スポーツ振興室長】今、考えておりますことは、カヌー競技では、これまでも学校への出前講座ということで、学校のプールやB&Gのプールを利用して、市民や小学生を対象としたカヌー体験教室をやってきましたが、今年はずっと自然の中での体験を増やしたいということで、九頭竜ダム湖等を活用した体験を実施していきたいと考えております。

また、これまで小学生や親子を対象にしていたんですが、大人でもやりたい人がいるのではないかとということで、大人を対象にしたカヌー教室も実施してみたいと考えております。

自転車につきましては、競技自転車となるとなかなかハードルが高いので、身近な所からサイクリングということで、例えば、芝桜の咲く時期の乾側や小山は綺麗な風景が見られますので、ゴールデンウィーク中に芝桜を眺めながらのサイクリングイベントなどを実施して、自転車の普及に努めたいと考えているところです。

【關委員】今の自転車のイベントは、いくつかの地区で実施してもらえると参加しやすいと思いました。イベント会場に行くまでが大変なので。

【スポーツ振興室長】芝桜の時期は乾側や小山地区でやりたいと思いますし、それ以外の時期は国体コースを活用したサイクリングなど、また別のコースとして考えたいと思います。

【關委員】大野へ帰ろう事業について、大野高校で実施すると先ほど説明がありましたが、大野には高校が二つあるんですが、大野高校だけなのですか。

【生涯学習課長】大野高校については、先ほど申し上げましたように、卒業式で保護者に「大野へ帰ろう」を歌っていただいています。奥越明成高校は、校長先生からも出来るだけ協力すると言っていただいているんですが、やはり勝山市の生徒さんがかなりの割合を占めていますので、BGMとして流していただくことにしています。

大野ポスター展やその他のイベントは奥越明成高校も大野高校も参加してもらっています。

【關委員】どちらの高校にも、他市の生徒さんはおられますし、ニュースには大野高校しか映らないので、奥越明成高校でも何かしているのかと思ったのでお聞きしました。

【生涯学習課長】お声掛けは一緒にしています。

【關委員】はい。そうして下さい。

【清水委員】大野へ帰ろう事業の、ポスター展は次回も企画しているのですか。

【生涯学習課長】3回終了し、来年度第4回も予定しています。

【教育長】私が聞くのも何ですが、文化財の指定件数が26年度も135件で4年ほど経つのに1件も増えてないのですが、何か見通しというか、働きかけをしているのであれば少し説明してください。

【文化財保護室長】文化財を指定するには、膨大な資料を調べる必要があります。

これまでも、委員さんから、和泉地区にいる『クロシジミ』というチョウを調べたらどうかと提案されたことがあります。また民俗芸能では『西谷もじり』もあるのですが、活動団体がきちんと保存活動を続けられるかどうか分からないという課題もありますので、そういったところを調査して指定できないかと考えています。

それと、これは大野市が指定するものではなく、国の登録文化財として、建築されて50年以上経っている建物について、つまり明治以降、昭和の戦後ぐらいつきに建ったような建物について登録文化財にならないかということで、ここ1、2年調査をしております、それが登録されますと、登録件数が大きく増えます。

国の登録文化財ですので国頼みとなりますが、今申し上げたような事例も、時間はかかりますが調査していきたいと思っております。

【清水委員】成人式に写真集を配りましたが、あれは、去年一度に作ったものですか。

【生涯学習課長】最初の年に、3年分を想定して作成したので、あともう1回分はあります。

【關委員】ということは、4年目にまた作るということですか。

【生涯学習課長】そこは、現時点では決まっています。

【教育長】最初は結の故郷創生室が所管でしたが、現在は生涯学習課の所管になりましたので、増刷することになれば、予算折衝が必要になりますので、今後考えさせて下さい。

【關委員】それこそ新成人に聞いてみたらどうですか。成果としてあるのならすればいいですが、どこかに放り投げて見ないのなら、もうちょっと縮小するとか。

【教育長】 全員ではなくていいので、50人ほど抽出してアンケートをしてもいいですね。まだ1年ありますので。

【生涯学習課長】 新成人の方の感想もさることながら、家族の方の反響もあるかと思えます。写真集は非売品で、特別な時にしか出さないという物ですので。

【關委員】 うちには、あるんです。私は見て「いいな」と思いましたが、若者がこれを見て、「じゃあ、大野に帰ろう」と将来思ってくれるかは疑問です。最初3年だけと聞いたので「私たちだけもらって悪いな」という気持ちと、何かちょっと複雑な気持ちですが、私はいただいて有難かったです。

【委員長】 はい、他にありませんか。

では、私から一つお願いします。上のほうの学校教育関係ですけれども、国際化・情報化社会に対応できる人づくりの中の小学校のALTを2名から3名に増員するとありますが、見通しとしてはどうですか。

【教育総務課長】 まだ、新年度予算が3月議会で承認されていないので、はっきりしたことは言えませんが、一人増やして3名の予定しております。

ALTが3名いますと、何とか工夫すれば、5年生と6年生の授業には必ず入れることができます。ただ、学校を掛け持ちすると、どうしても移動に時間が取られますので今までの勤務より若干長い勤務になる日もあるのですが、組み合わせを工夫すれば、5、6年生の全ての授業に入れることができると聞いております。

人材を派遣しているJETという組織を通しての契約になりますので、雇用は7月末か8月の上旬となり、2学期からの取り組みとなります。

【委員長】 英語の教科化が入ってきますので、是非とも頑張ってもらいたいと思います。

それから、非常に小さいスペースで、書きたいことがたくさんあるんですね。所どころおかしいと思う文章がありますので、その辺よく検討してください。

例えば、一つだけ例を言いますと「昨年度オープンしたCOCONO」の行ですけど、「昨年度オープンした」というのが必要なのかと。名水マラソンには必ず去年は53回とか今年は54回とかと書いてありますが、回数は必要でないように思います。

その他、皆さんの方でございませんか。

なければ、これは、いつまでですかね。

【教育総務課長】 3月の定例教育委員会で、議案として出させていただきます。その時には、成果指標の数値が入れられない箇所もあると思いますが、その時点で入れられる限りの数字を入れて、議案として上げさせていただきたいと思います。

【委員長】 まだ、時間的余裕がございしますので、もし何かありましたら、事務局のほうへ連絡いただくと有難いと思います。

【委員長】 次に文化会館の整備について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【委員長】 はい、ありがとうございます。PFI方式を採用しないことに至ったいきさつについて詳しく説明いただきました。このことについて、何かありますか。

【局長】 ちょっと補足します。今年の基本構想に基づいて文化会館整備基本計画を作っていますが、前々回の定例教育委員会で整備計画案の方向性をご説明しました。

あの計画案は、基本的に変わらないのですが、建物を整備する方法としてPFI方式を採らないということです。

【委員長】 ただ心配するのは、基本構想の策定委員会もPFI方式という考え方できていたんですね。

【教育総務課長】 手法は別とはいえ、PFI方式も踏まえながらやってきました。

【委員長】 そのあたりの対応を丁寧にやっていただかないといけないと思います。

【局長】 ここで、PFI方式を採らず、従来方式でやるという舵を切りますので、教育委員の皆さんに、もう一度そういうことも含めてご説明させていただくのと、整備基本計画については特に変更はないのですが、整備手法による、管理や運営について計画の中で修正をしないといけないと思っております。

【清水委員】 PFIはやらないということになったとしても、一応ある程度たたき台として維持費が年間6千万円、月5百万円という金額がこうやって出ますと、PFIでやらないで、従来やり方でやるとしても、かなり節約しないと難しいのではないかと思います。

【教育総務課長】 維持管理、運営の費用が一番金額を落とすところとなると思います。

先ほども申し上げたように、集客力のあるような著名人との太いパイプを持つ文化芸術の専門家を常駐させるとなると、その人件費だけでも莫大な費用になります。

現在は、その方面の専門ではない生涯学習課の職員が、文化講演の情報を得たり企画をしたりしていますので、そういうふうに職員がやるか、外部に委託するとしても、シルバー人材センターや地域の方であったりと、現状より極端に負担が増えるようなことはできないと思います。

やはり建築費はPFIでやるやらないで、そんなには差はないと思うのですが、維持管理費については、よく考えていかなければいけないことだと思っております。

【委員長】 検討委員会がこういう結論を出したということですが、やむを得ない結論かなと思います。そういう報告をお聞きしたということで、よろしいでしょうか。

検討委員会の場で決定したことでするので、それを尊重するというところで。

【局長】 検討委員会では、PFIを導入しないという方向としましたが、策定委員の皆さんに協議していただいて計画策定作業を進めておりますので、検討委員会の結論を受けて、教育委員会としてPFIの導入をしないということについて、委員の皆さんがご理解いただいたということの確認をお願いしたいと思います。

【委員長】 そういうことでするので、委員の皆さんの方から、何かご意見等ありませんか。

ありませんね。

——<「はい」の声あり>——

【委員長】 では、検討委員会の報告を基本として、教育委員会も一応承認したということで、ご報告いただければ結構です。

【委員長】それでは続きまして、3月市議会について。事務局の説明をお願いします。

——<事務局説明>——

【委員長】はい、何か質問はありませんか。

【關委員】9ページの一番上の昭和の子どもたちの新作パネルとは何枚ですか。

【生涯学習課長】27枚です。

【關委員】27枚で、この予算ですか。

【委員長】文化財保護室の先ほどの説明の中で、化石関係の資料は、いくらぐらいかかるんですか。

【文化財保護室長】アンモナイトの図録は、印刷製本費が約40万円です。500冊印刷しまして、一冊500円程度で約400冊は販売に回すことを考えております。

【委員長】写真撮影はプロが行うのですか。

【文化財保護室長】はい、市内の写真屋さんをお願いしております。今年度中に撮影等の準備をして、来年度に印刷する予定です。

【委員長】他にはよろしいですね。

では、終わります。3月の主な行事予定について。各課の説明をお願いします。

——<各課室長説明>——

【委員長】はい。それでは皆さん、3月の定例教育委員会は29日ということで、9時から結とぴあ3階で感謝状贈呈式、引き続いて談話室で定例教育委員会という提案ですが、それでいいですか。

——<異義なし>——

【委員長】では、そのように決めさせていただきます。

他にありましたら、お願いします。

無いようですので、次に入ります。

【その他】

【委員長】その他、(1)2月の業務報告について、各課室の説明をお願いします。

——<各課室長説明>——

【委員長】2月の業務報告について説明をされました。何か質問はありませんか。

特にないようですので、次に入ります。

【委員長】(2)小中学校卒業式について、説明をお願い致します。

——<学校教育審議監説明>——

【委員長】続いて(3)感謝状贈呈式について、説明をお願い致します。

——<学校教育審議監説明>——

【委員長】それでは最後に(4)指定学校の変更申請許可について、事務局の説明をお願いします。

——<学校教育審議監説明>——

【清水委員】送迎は、保護者がされるのですか。

【学校教育審議監】はい、指定学校の変更は全て、保護者の責任で送迎していただくということが前提です。

【委員長】この件について、よろしいですね。

——<「はい」の声あり>——

【委員長】それでは（４）指定学校の変更申請の許可については、事務局の説明どおりと致します。

【委員長】予定された項目は全て終了致しました。その他で何かありましたらお願いします。

【局長】この後、COCONOアートプレイスをご案内しますので移動をお願いします。

【委員長】それでは、本日の定例会はこれにて終了いたします。

大変お疲れさまでした。

午後４時３５分終了

平成３０年３月２９日

(清水委員)

(麻生委員)